

ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 235 号

令和3年7月1日発行



セルフハートバザール(令和3年2月25日～2月28日)

令和2年度事業報告・決算	2	高齢者の生活を支える 「生活支援体制整備事業」の紹介	8
令和2年度決算総括表	3	福祉サービス利用支援事業案内	9
シルバー文化作品展作品募集	4	介護実習・普及センター楽しく学べる介護講座 (7～9月)のご案内	10
令和2年度経営相談・活動状況	4	介護ロボット相談窓口のご案内	10
福祉保健医療職場就職ガイダンスのご案内	5	赤い羽根共同募金に感謝！ ありがとうのメッセージ	11
介護職場シニア就職応援セミナーのご案内	5	インフォメーション	12
令和2年度シルバー110番相談状況	6		
使用済み切手・書き損じハガキでボランティア	7		

令和2年度

鹿児島県社会福祉協議会
事業報告・決算状況

令和2年度事業実施概要

社会福祉を取り巻く環境は、市町村を基盤とした地域福祉の推進が図られる一方で、急速な少子高齢化などに伴う地域社会の変容や社会的孤立、制度の狭間の問題などの顕在化、人口減少問題が深刻化する中で困難さを増す介護人材の確保など対応すべき多くの課題があります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出の自粛等による高齢者等の孤立、減収や失業による生活困窮者の増加、地域福祉活動の停滞や居場所の喪失による地域のつながりの希薄化などの新たな課題も生じています。

地域福祉の中核的推進組織である県社協は、複合化・複雑化してきた福祉ニーズに的確に応えるために、令和2年度の基本目標を次のとおり定め、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域福祉の推進に全力を傾注してまいりました。

この中で、具体的な事業としては、生活福祉資金貸付事業において、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮の課題に対応するため、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付を適切に実施しました。

また、福祉人材の安定的な確保を図るための社会福祉従事者等に対する各種研修等においては、新型コロナウイルス感染症防止に配慮した研修開催や必要な機器を整備した上での、オンラインやオンラインによる研修開催を進

めました。

さらに、共同募金配分金を財源としたこどもイキイキ地域つながりプロジェクト事業における不登校児やひきこもり支援に関する取り組みなど、市町村社協等における地域福祉活動の充実・強化や地域医療介護総合確保基金を活用した福祉・介護人材確保事業や介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業等による介護未経験者や高齢者等の多様な人材の参入を図るための取り組みを進めました。

以上に加え、ボランティア活動の促進、福祉サービスの利用支援や苦情解決の推進、すこやか長寿社会づくり運動の推進等についても、関係機関・団体と連携を図りながら引き続き取り組みました。

基本目標

1 地域福祉活動の推進

- (1) 生活困窮者自立支援制度への適切な対応

- (2) 社会的孤立等に対応する地域支援基盤づくりの推進

- (3) 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進

- (4) 生活福祉資金貸付事業の的確な運用と債権管理の推進

2 福祉人材の養成・確保の強化

- (1) 障害福祉人材育成事業の推進

- (2) 介護人材の確保・定着促進

3 社会福祉諸制度改革への適切な対応と関係機関・団体との連携

事業実施状況

I 会務の運営並びに連絡調整等

- 1 役員会等の開催
2 関係機関・団体との連絡調整
3 自主財源の確保
4 広報活動等の推進

II 地域福祉活動の推進

- 1 地域福祉推進支援事業
2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施
3 制度改正等対応市町村社協支援事業
4 地域福祉推進大会開催事業
5 生活支援コーディネーター体制構築事業
6 こどもイキイキ地域つながりプロジェクト事業
7 地域包括支援体制人材育成事業

III ボランティア活動の促進

- 1 県ボランティアセンターの運営
2 福祉教育推進事業
3 養成・研修事業
4 広報啓発事業
5 市町村ボランティアセンターの活動促進

IV 福祉相談活動の推進

- 1 相談センターにおける福祉相談業務の推進
2 相談関係機関との連携及び相談体制の支援

V 社会福祉施設・団体等の活動促進及びすこやか基金による活動助成等

- 1 社会福祉振興資金の貸付
2 福祉施設経営指導事業
3 種別協議会の活動促進
4 すこやか基金による活動助成等

VI 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進

- 1 福祉サービス利用支援事業の推進
2 福祉サービス苦情解決事業の推進

VII 福祉人材の養成・確保

- 1 福祉人材の安定的な確保を図るための支援
2 福祉介護人材確保事業
3 介護福祉士修学資金等の貸付
4 保育士修学資金貸付等事業
5 社会福祉事業従事者等研修
6 社会福祉事業従事者の福利厚生等県指定事業
7 教員免許介護等体験受入調整事業
8 外国人介護人材受入支援事業
9 外国人介護人材受入支援事業

VIII 介護実習・普及センターの運営

- 1 介護実習・普及センター運営事業

IX 生活福祉資金貸付事業の推進

- 1 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付
2 債権管理の強化

X すこやか長寿社会づくり運動の推進

- 1 すこやか長寿社会づくり運動の推進
2 かごしまシニア人材育成活用事業

XI 県社会福祉センターの管理・運営

- 1 県社会福祉センターの整備及び維持管理、利用促進等

XII 地域医療介護総合確保基金事業の推進

- 1 介護の仕事を理解促進事業
2 介護職員チームリーダー養成研修支援事業
3 元気高齢者等介護職場インターンシップ事業
4 離職介護職員の登録促進事業
5 介護の入門的研修事業
6 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業

令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支決算総括表

(単位：円)

会計区分・事業区分等	収入額	支出額	当期末支払資金残高
社会福祉事業区分	513,417,513	456,953,189	56,464,324
公益事業区分	3,155,227,526	2,778,999,461	376,228,065
収益事業区分	12,972,437	11,972,437	1,000,000
事業区分間の内部取引消去	△ 44,954,040	△ 44,954,040	0
一般会計 合計	3,636,663,436	3,202,971,047	433,692,389
生活福祉資金会計	12,477,059,860	7,006,148,079	5,470,911,781
要保護世帯向け不動産担保型 生活資金会計	7,056,443	7,056,443	0
生活福祉資金貸付事務費会計	294,818,310	268,464,478	26,353,832
離職者生活支援つなぎ資金会計	15,159,974	351,871	14,808,103
生活福祉資金会計 合計	12,794,094,587	7,282,020,871	5,512,073,716

貸借対照表

【一般会計】

(令和3年3月31日現在) (単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	503,627,949	流動負債	84,808,838
現金預金	451,785,871	事業未払金	25,830,338
事業未収金	21,786,624	その他の未払金	37,315,370
未収金	23,605,770	1年以内返済予定リース債務	1,080,336
未収補助金	4,586,000	預り金	110,395
商品・製品	228,420	職員預り金	4,475,037
立替金	9,314	前受金	960,000
前払金	20,000	賞与引当金	15,037,362
前払費用	589,950	固定負債	15,330,913,206
1年以内回収予定長期貸付金	1,016,000	リース債務	2,700,840
固定資産	16,479,206,226	退職給付引当金	261,286,995
基本財産	560,463,845	退職共済預り金	15,066,925,371
建物	555,463,845	負債の部合計	15,415,722,044
定期預金	5,000,000	純 資 産 の 部	
その他の固定資産	15,918,742,381	基本金	100,000
建物	3	基本金	100,000
車両運搬具	861,094	基金	177,062,081
器具及び備品	4,191,874	すこやか基金	177,062,081
有形リース資産	3,691,148	国庫補助金等特別積立金	629,470,899
ソフトウェア	653,220	国庫補助金等特別積立金（介護修学貸付）	378,489,899
長期貸付金	1,011,000	国庫補助金等特別積立金（保育修学資金）	250,981,000
介護福祉士修学資金貸付金	152,094,816	その他の積立金	168,729,600
実務者研修受講資金貸付金	13,535,000	社会福祉積立金	158,729,600
再就職準備金貸付金	4,637,000	修繕積立金	10,000,000
保育士修学資金貸付金	94,501,650	次期繰越活動増減差額	591,749,551
未就学児保育料貸付金	514,200	次期繰越活動増減差額	591,749,551
就職準備金貸付	800,000	（うち当期活動増減差額）	△ 42,994,476
退職給付引当資産	106,528,650		
退職共済事業管理資産	15,066,925,371		
社会福祉積立資産	158,729,600		
すこやか基金積立資産	177,062,081		
修繕積立資産	10,000,000		
退職手当積立基金預け金	120,005,674		
出資金	3,000,000	純資産の部合計	1,567,112,131
資産の部合計	16,982,834,175	負債及び純資産の部合計	16,982,834,175

【生活福祉資金会計】

(令和3年3月31日現在) (単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	5,537,665,853	流動負債	38,240,420
現金預金	4,420,040,706	事業未払金	24,486,865
有価証券	1,110,175,350	その他の未払金	1,286,444
未収金	1,347,826	一年以内支払予定長期未払金	9,756,000
未収収益	5,789,635	預り金	6,492
仮払金	500,000	賞与引当金	2,704,619
△徴収不能引当金	△ 187,664	固定負債	59,461,020
固定資産	8,032,720,457	生活福祉資金会計長期借入金	49,702,020
その他の固定資産	8,032,720,457	長期未払金	9,759,000
器具及び備品	281,395	負債の部合計	97,701,440
貸付金	7,225,485,150	純 資 産 の 部	
長期滞留債権	294,192,841	国庫補助金等特別積立金	12,855,426,120
要保護不動産担保型資金会計長期貸付金	49,702,020	国庫補助金等特別積立金	12,855,426,120
欠損補てん積立特定資産	477,482,034	その他の積立金	489,661,034
電算積立資産	12,179,000	欠損補てん積立金	477,482,034
△徴収不能引当金	△ 26,601,983	電算積立金	12,179,000
		次期繰越活動増減差額	127,597,716
		次期繰越活動増減差額	127,597,716
		（うち当期活動増減差額）	7,079,484
		純資産の部合計	13,472,684,870
資産の部合計	13,570,386,310	負債及び純資産の部合計	13,570,386,310



第30回シルバー文化作品展 作品募集のお知らせ

高齢者の創作による文化作品を展示し、趣味活動や創作意欲を高めることにより、高齢者の心身ともにすこやかなゆとりのある生きがいを促進するため、今年度も「シルバー文化作品展」を開催します。

開催期日:令和3年9月8日(水)～9月12日(日) 会場:鹿児島県歴史・美術センター黎明館

作品募集

開催要領、出品申込票は、当協議会のほか、各市町村社会福祉協議会や役場等に準備しています。規格・出品方法等の詳細については、開催要領をご覧ください。

部 門	日本画 ・ 洋画 ・ 書 ・ 工芸 ・ 写真 ・ 彫刻
資 格	県内居住の満年齢60歳以上(昭和37年4月1日以前生まれ)のアマチュアの方
出 品 点 数 等	作品は出品者(個人)が創作した未発表のもので、全部門を通じて1人1点です。
出品事前申込	出品事前申込書を郵送又はFAXで送付してください。(8月3日(火)まで)
作 品 搬 入	令和3年9月3日(金)午前9時30分から午後4時30分まで 作品と出品申込票を黎明館(裏側)搬入口に提出してください。 (離島や遠隔地から出品する場合は、宅配便の利用もできます。)
出 品 料	1,000円(搬入当日に現金で納付してください。宅配便利用の方は振込にて前納。)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、作品展の内容が一部変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

【問い合わせ先】

鹿児島県社会福祉協議会
住所:鹿児島市鴨池新町1番7号

長寿社会推進部

Tel 099-250-7441 Fax 099-250-7443

◆福祉施設経営相談コーナー◆

「福祉施設経営相談コーナー」(県社会福祉協議会)では、主に会計・税務に特化して、専任指導員のほか、兼任指導員(公認会計士)を配置しておりますので、お気軽にご相談ください。＜秘密厳守・相談無料＞

令和2年度の相談実績は次のとおりです。

1年間の相談件数は93件で内容別では、会計・税務に関する相談が87件(93.5%)と最も多く、ほかに定款諸規程・施設整備で6件(6.5%)となっています。

施設種類別では、老人福祉施設24件(25.8%)、障害者支援福祉施設23件(24.7%)、児童福祉施設6件(6.4%)、その他の施設(社協等)18件(19.4%)、法人本部22件(23.7%)となっています。

【社会福祉法人会計研修の開催】

昨年度は鹿児島県社会福祉法人経営者協議会との共催で年4回実施しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、広い会場を使い、参加者数(定員)を抑えた形で、ソーシャルディスタンスを確保するとともに、マスク着用・手指消毒・検温等の予防策を講じた上で開催しました。

なお、後半は会場とオンラインを併用して実施しました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、収束しない場合は、オンライン研修として実施予定です。

(計画は次のとおりです。)

- ①令和3年7月29日(木)開催(オンライン)
- ②令和3年10月～11月頃開催(オンライン予定)
- ③令和4年2月頃開催(オンライン予定)

☆全国社会福祉法人経営者協議会＜会員専用相談窓口＞「ちょっと教えて！経営協」のご紹介

※全国経営協ホームページ [https://www.keieikyo.com/index.html] より→「会員法人MYページ」にログイン
・法人運営や社会福祉諸制度の内容など日々の経営実務に関するご意見、ご質問をお寄せください。

【お問い合わせ先】

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部(施設福祉)内
電話 099-257-9885 FAX 099-250-9358

あなたの就職活動をお手伝いします!!お気軽にご参加ください!

令和
3
年度

「福祉・保健医療職場 就職ガイダンス」のご案内



日時 令和3年
8月1日(日)
10:00~16:00



就活応援セミナー 10:00~12:00 (受付9:30~)

【テーマ】福祉の職場の現状と就職の心構え
【講師】鹿児島県労働局職業対策課課長補佐 川崎 裕行氏
【テーマ】福祉のお仕事紹介
【講師】県内社会福祉施設職員の方々

就職面談会 13:00~16:00 (受付12:30~15:30)

(施設概要、仕事の内容、採用条件等について、施設の人事担当者との個別面談会)
(情報提供・資格取得相談コーナーも同時開催)

場所 鹿児島サンロイヤルホテル 就活応援セミナー (1Fエトワール)
(鹿児島市与次郎1丁目8番10号) 就職面談会 (2F太陽の間)

参加費 **無料** 事前申込必要 履歴書不要

対象者 福祉・保健医療職場への就職希望者
(一般の方(シニアの方を含む)及び大学・短大・専門学校生等)

未経験者OK! 無資格者OK! シニアの方も大歓迎!

※学生:令和4年3月卒業予定者

参加法人 80法人(予定)

参加法人の情報は、資料がまとまり次第県社協HPで公開する予定です

主催 鹿児島県・社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会

※お申込み方法:令和3年7月21日(水)までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※荒天等のため開催できない場合もあります。直前にホームページ等で必ずご確認ください。

※ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。また発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えくださいますようお願いいたします。



お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター Tel 099-258-7888 Fax 099-250-9363

令和3年度 介護職場シニア就職応援セミナーのご案内

開催地域・日程等 ※新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず開催を中止又は延期する場合があります。

地域	日時	会場	申込締切日
始良・伊佐	令和3年 9月25日(土) 10:00~12:00	国分総合福祉センター	9月 3日(金)
大島	令和3年10月13日(水) 13:15~15:15	天城町防災センター	9月21日(火)
大隅	令和3年11月20日(土) 10:00~12:00	かのやグランドホテル	10月29日(金)
鹿児島	令和4年 2月11日(金祝) 10:00~12:00	かごしま県民交流センター	1月21日(金)

※セミナー終了後、就職面談会が開催されます。

・始良・伊佐地域は国分シビックセンター、大隅、鹿児島地域は、セミナーと同会場で 13:00~16:00 就職面談会を開催します。

・大島地域は、セミナーと同会場で15:30~17:00の間、福祉関係事業所との面談会を開催します。

対象者

概ね55歳以上で、介護や介護の職場に興味・関心があり、介護の職場について知りたいと思われる方

募集人数

各会場30名(先着順) ※鹿児島地域は50名

受講料

無料

申込み方法

受講申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込み下さい。

お申込み・お問い合わせ先

〒890-8517

鹿児島市鴨池新町1-7 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

TEL:099-258-7888 FAX:099-250-9363



令和2年度シルバー110番の相談状況



令和2年度の高齢者やその家族の方々などからの相談状況は次のとおりでした。
年間の相談件数は527件で、前年度より298件の減少となりました。

相談内容を項目別にみますと、「老人福祉全般」が192件で最も多く全体の36・4%、次いで「法律」が175件、33・2%で、この2項目で全体の69・6%を占めています。

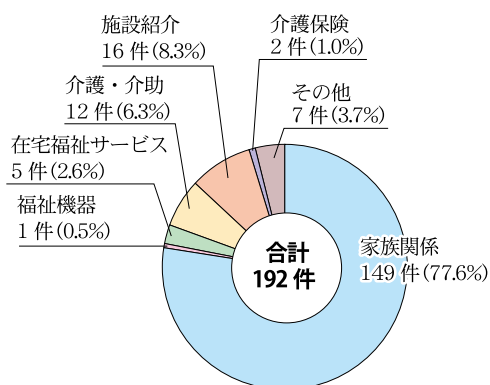
また、相談を医師・弁護士などによる「専門相談」とその他の「一般相談」に分類しますと、「専門相談」が151件で28・7%、「一般相談」が376件で71・3%となっています。

相談件数

区分	令和元年度		令和2年度	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
老人福祉全般	408	49.5	192	36.4
法律	194	23.5	175	33.2
経済・生活	46	5.6	32	6.1
保健・医療	175	21.2	122	23.2
いきがいきづくり	2	0.2	6	1.1
合計	825	100.0	527	100.0

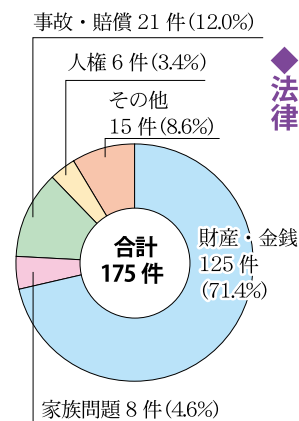
項目別相談状況

◆老人福祉全般



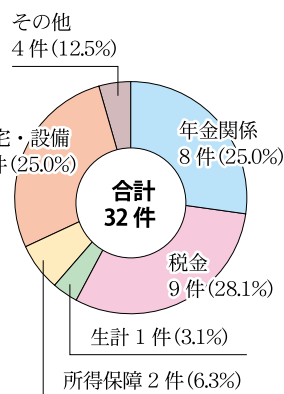
日常生活における悩み等の「家族関係」に関する相談が149件で8割近くを占めており、以下「施設紹介」16件、「介護・介助」12件などとなっています。

◆法律



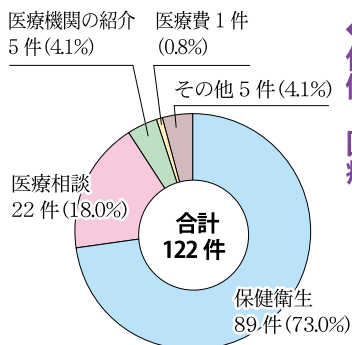
相続や金銭貸借などの「財産・金銭」に関する相談が125件で約7割を占めており、以下「事故・賠償」21件、「家族問題」8件などとなっています。

◆経済・生活



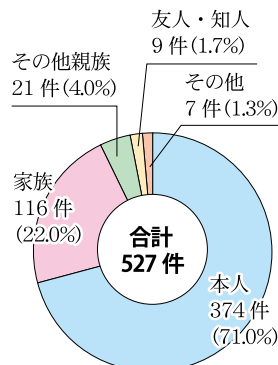
「税金」に関する相談が9件で最も多く、以下「年金関係」、「住宅・設備」がそれぞれ8件となっています。

◆保健・医療



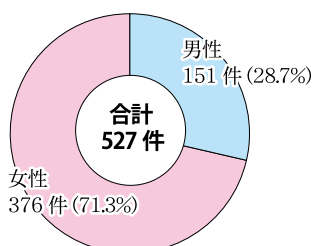
これまで同様、女性からの相談が多く、男性からの相談の2倍以上となっています。

◆相談者別



日常の健康管理などの「保健衛生」に関する相談が89件で7割以上を占めており、以下「医療相談」22件などとなっています。

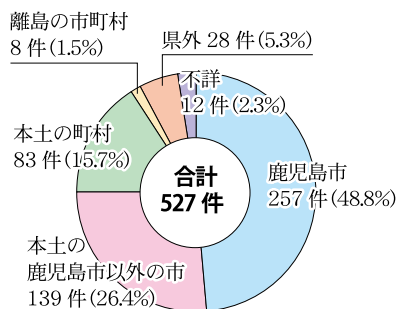
◆性別



本人からの相談が374件で約7割を占め、次いで家族・その他親族で、本人を含む身内からの相談が大部分を占めています。
「その他」は、市町村社協・施設の職員や民生委員などです。

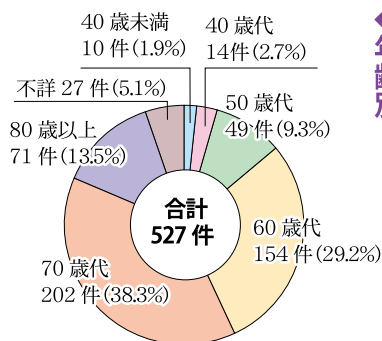
利用形態別相談状況

鹿児島市が257件で最も多く、鹿児島市を含む本土の市町で4分の3を占めています。なお、離島から8件、県外からも28件の相談がありました。



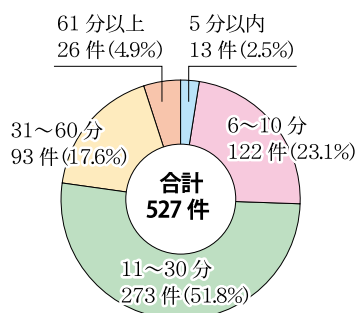
◆地区別

相談件数は70歳代、60歳代、80歳以上の順となっています。50歳代以下の相談は、親や祖父母などの高齢者に関する相談がほとんどです。



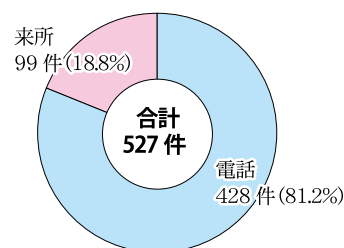
◆年齢別

最も多いのは11～30分の273件で、8割近くが30分以内の相談でした。



◆相談時間別

電話による相談が428件で8割以上を占めていますが、来所しての面接相談も99件ありました。来所相談の多くは法律相談、保健衛生に関するものです。



◆相談方法別

専門相談は、本年4月から、保健師による健康・介護相談のみになっています。〔相談日：火曜日、金曜日 13:00～16:00〕

～使用済み切手・書き損じハガキでボランティア～

届け!!みんなの使用済み切手♪



収集ボランティアは、個人・団体・企業体など幅広く誰もが手軽に取り組めるボランティア活動です。県ボランティアセンターでは、皆様が集めた「使用済み切手」、「書き損じ葉書」を本県の福祉の向上に役立てようと、令和元年度より「届け!!みんなの使用済み切手」の活動に取り組んでいます。集めることで社会貢献につながる活動です。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

●使用済み切手・書き損じハガキの活用のながれ

①ボランティアセンターに寄せられた「使用済み切手」や「書き損じ葉書」を分別して買取業者へ依頼



②買取金額は一定期間積立てられた後に本県の福祉の向上のために活用されます

車椅子や福祉教育のための福祉教材の整備など



大規模災害時の救援活動など



開始から2年間で
約230kgの
使用済み切手が寄せられました。
ありがとうございます

問い合わせ先
ボランティアセンター
☎099-253-6922

注) ボランティアセンターから回収に伺うことはありません。

●当センターで受入られる切手

・封筒やハガキなどに貼付された記念切手や普通切手

〈切り取る際のポイント〉

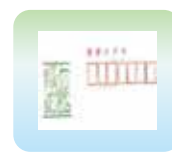
切手のまわりを1cmほど残して切り取ってください。
特に、消印の日付や地名を好んで集める愛好家がいるため、消印の長いものも、地名、日付が残るようご注意ください。



注) ボランティアセンターから回収に伺うことはありません。

●当センターで受入られない切手

・封筒やハガキからはがしてしまった切手。
・メータースタンプ(切手のない印字だけの消印)
・官製ハガキの切手が印刷された部分



高齢者の生活を支える“生活支援体制整備事業”について知ろう！

ー生活支援コーディネーターと協議体の役割ー

現在、介護保険法により各市町村では生活支援の仕組みづくり(生活支援体制整備事業)に取り組まれています。この事業では、住民主体の自助・互助を基本とした生活支援等が創出されるよう「生活支援コーディネーター」や「協議体」を設置し、高齢者等を支える体制づくりを行っています。

★生活支援コーディネーターってどんな人？



介護保険法改正により、平成30年4月からすべての市町村に配置された方で、**地域の支え合いの活動を発掘したり、新たな支え合いの活動の推進役**を担っています。住民と関係者・機関をつなげたり、現在ある取り組みや組織などを上手に使いながら、暮らしやすい地域づくりをコーディネートしていきます。

★協議体ってなにをするの？



協議体は、地域活動をしている人・世話焼きの人・元気高齢者などが中心となって、専門職と一緒に**地域の支え合いを発展させ、新たな地域づくりを進める場所**です。福祉の枠を超えて、さまざまな分野と相互の関係を作りながら、話し合って進めます。

★市町村ではこんな取り組みが行われています！

阿久根市の川畑中区では、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための取り組みとして、生活支援コーディネーター・社会福祉法人・地域包括支援センター等が協働で、社会福祉法人の車両を活用して高齢者の買い物支援を行う「ドライブサロン事業」を展開しています。



買い物をした後は、買ったお惣菜やお菓子などを持ち寄ってミニサロンが開かれることもあり、単に買い物支援としてだけでなく、仲間づくりや介護予防にも繋がる取り組みとなっており、地域の高齢者の生きがいづくりの場にもなっています。



鹿児島県も「生活支援コーディネーター体制構築事業」で支えます！

鹿児島県社会福祉協議会では、鹿児島県からの委託を受け、次の2つの事業を活用しながら、市町村と生活支援コーディネーター等と一緒に地域づくりを行います。

<生活支援コーディネーター養成研修>

年2回の研修(基礎編・実践編)をとおして、生活支援コーディネーターの技術と資質を高めます。これまでに延べ906人が受講しました。



特別講義の様子

<県生活支援体制推進コーディネーター>

各市町村における生活支援体制づくりが円滑に進むように、一緒にお手伝いします。



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部

TEL:099-257-3855 E-mail:chiikifukushi3@kaken-shakyo.jp

福祉サービス利用支援事業(日常生活自立支援事業)

社会福祉法に基づいて、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安のある方々が住みなれた地域で安心して暮らせるようお手伝いします。

地域の社会福祉協議会が
お手伝いいたします。

◎サービスの内容

- (1)福祉サービスの利用援助
(基本サービス)
福祉サービスの情報提供、助言、
支払い手続きなど
- (2)日常的な金銭管理サービス
日常生活に必要な預貯金の出入、
公共料金等支払い手続きなど
- (3)書類等預かりサービス
預貯金通帳、印鑑、証書等預かり

あなたは、このようなことで困ったことはありませんか？

- 福祉サービスを利用したいけど手続きがわからない。
- どこにどんな施設があるのか、利用料などわからない。

- 役所から書類が届いたけど何が書いてあるかわからない。
- 郵便物をどうしたらよいかわからず不安だ。

- 生活費の使い方が自分でうまくできない。
- 年金の受取りや電気代などの支払が自分でできない。

- 預金通帳や印鑑の保管場所を忘れがちになった。
- 大切な年金証書や預金通帳は信頼できるところに預けたい。



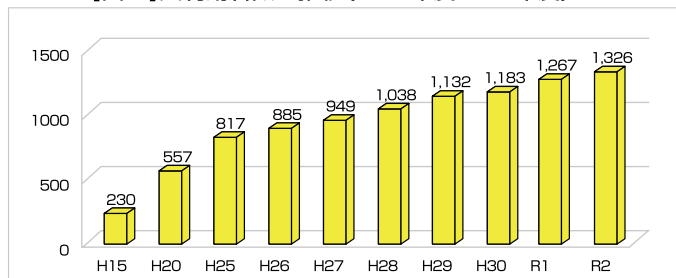
◎利用者の状況

この事業では、高齢者や障害者のうち、自らの判断能力に不安のある方で、福祉サービスの利用の手続き、日常生活の金銭の支払い等にお困りの方を住み慣れた地域で自立した生活ができるようお手伝いしています。

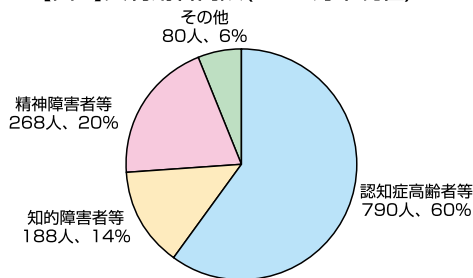
令和2年度1年間の契約が334人、終了が275人で、事業開始から令和3年3月末までの実利用者は、[図1]のとおり右肩上がりが増加しています。[実利用者(1,326人)=契約(4,635人)-終了(3,309人)]

実利用者の内訳は、[図2]のとおりで、鹿児島県では認知症高齢者等の方が約6割を占めていますが、近年、精神障害者等の方が増えつつあります。

【図1】実利用者数の推移(H15年度～R2年度)



【図2】実利用者内訳(R3.3月末現在)



福祉サービス利用支援事業の実施機関一覧

(社協=社会福祉協議会)

お住まいの地域の社会福祉協議会にご相談ください。

実施社協	お問合せ先	実施社協	お問合せ先	実施社協	お問合せ先
指宿市社協	0993-22-5543	湧水町社協	0995-75-2200	奄美市社協	0997-52-7601
枕崎市社協	0993-72-7450	曽於市社協	0986-72-0460	大和村社協	0997-58-3434
南さつま市社協	0993-53-5590	志布志市社協	099-472-1800	宇検村社協	0997-67-2295
南九州市社協	0993-83-3961	大崎町社協	099-476-3663	瀬戸内町社協	0997-72-4144
日置市社協	099-246-8561	垂水市社協	0994-32-6277	龍郷町社協	0997-62-5020
いちき串木野市社協	0996-32-3183	鹿屋市社協	0994-44-1968	喜界町社協	0997-65-0449
薩摩川内市社協	0996-29-5587	東串良町社協	0994-63-4760	徳之島町社協	0997-83-1205
さつま町社協	0996-52-1123	錦江町社協	0994-22-2000	天城町社協	0997-85-5093
阿久根市社協	0996-72-3800	南大隅町社協	0994-24-4218	伊仙町社協	0997-86-4194
出水市社協	0996-63-2140	肝付町社協	0994-68-8188	和泊町社協	0997-92-2299
長島町社協	0996-86-0190	西之表市社協	0997-22-0506	知名町社協	0997-93-5261
伊佐市社協	0995-26-4120	中種子町社協	0997-27-1845	与論町社協	0997-97-5042
霧島市社協	0995-45-1557	南種子町社協	0997-26-1703	鹿児島県社協	099-257-3875
始良市社協	0995-65-7757	屋久島町社協	0997-42-2711	(所管:鹿児島市、三島村、十島村)	

お問合せ先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部 福祉サービス利用支援室

TEL.099-257-3875 FAX.099-257-5707

この事業の詳しい内容は、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaken-shakyo.jp/riyoshien/shienziguyou.htm>



楽しく学べる介護講座(7月～9月)のご案内

番号	講 座 名	日 時	内 容	受講料等
1	介護職基礎研修B	7月7日(水) ～8日(木) 10:00～16:00	○福祉用具の選び方・使い方、安全確認トレーニング ○体位変換・ポジショニングケアの方法 ○誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法 ○認知症疾患別の理解とケア、コミュニケーションのとり方	5,000円
2	介護職スキルアップ研修 (口腔ケア)	7月9日(金) 10:00～16:00	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○口腔ケア体操 ○効果的な歯磨き方法・義歯の手入れ方法 ○拒否される方への対応・コミュニケーションのとり方	4,000円
3	やさしい介護教室B 【県民向け】	7月21日(水) 10:00～15:00	○これは助かる！福祉用具の選び方・使い方 ○らくらく！寝返りから移乗までの介助方法	500円
4	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅡ)	8月27日(金) 10:00～16:00	○身体状況に応じたおむつの種類と選び方 ○おむつのあて方のポイント	4,000円
5	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニング ケア)	8月28日(土) 10:00～16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換、ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
6	やさしい介護教室C 【県民向け】	8月29日(日) 10:00～15:00	○基本を知ろう！衣服の着脱、歩行の介助方法 ○ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法	500円
7	介護職スキルアップ研修 (認知症ケア)	9月3日(金) 10:00～16:00	○認知症疾患別援助の方法 ○事例を通しての理解（グループワーク）	4,000円
8	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアⅠ)	9月15日(水) 10:00～16:00	○排泄・失禁についての基礎知識 ○スキンケア方法 ○麻痺・拘縮のある方のおむつ交換	4,000円
9	介護職基礎研修A	9月16日(木) ～17日(金) 10:00～16:00	○介護保険制度の理解と介護の心得 ○身体や腰に負担をかけない起居・移乗・移動の介助方法 ○高齢者のための転倒予防体操・心身機能低下予防体操 ○身体状況に応じたおむつの選び方・あて方・交換方法	5,000円
10	地域介護講座【県民向け】			500円
	【日時】7月28日（水）10:00～15:30 【場所】菱刈総合保健福祉センター		○らくらく！寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗の 介助方法	
	【日時】9月27日（月）10:00～15:30 【場所】知覧老人福祉センター		○ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ○これは助かる！福祉用具の選び方・使い方	

(番号1～9までの会場は、すべて「かごしま県民交流センター」です。)

「介護ロボット相談窓口」が当センター内に6月1日オープンしました

- 窓口では、介護ロボットの導入・活用方法や開発・実証・普及方法等に関する相談を受け付けます。
 - 移乗・移動・排泄・見守り支援などの介護ロボットを常設展示しており、実際に触れて体験できます。
 - 開発企業から介護施設への試用貸し出しのお手伝いもいたします。
- ぜひ一度、ご来場ください。

(厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」受託)



※掲載の内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。
※研修・講座、事業等につきましては、本会ホームページ <http://www.kaken-shakyo.jp/> 内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに掲載していますので、ご確認ください。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示) (運営: 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター2階

TEL 099-221-6615 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【利用時間: 9:00～17:00 休館日: 月曜日(※祝日の場合は翌日), 12/29～1/3】





じぶんの町を良くするしくみ **赤い羽根共同募金** が役立っています！ ありがとうございますメッセージ



「地域で支え合うマップづくり」

さつま町社会福祉協議会

さつま町社協では共同募金の助成金を活用して「支え合いマップ」の作成に取り組んでいます。住宅地図を用いて、在宅で生活する高齢者や障がい者の方々など、気がかりな人や困りごとを抱えている人についての情報を共有し、課題の解決策を考えながら、住民が安心して暮らせるように地域全体で支える仕組みづくりを目指しています。

コロナ禍においては、なるべく密にならないように地図を掲示し、離れたところからご意見を頂くなどの工夫をしながら取り組んでいます。活動自粛中でも行うことができる安否確認の方法や地域ごとの特色を活かした生活支援(例: ゴミ出しなどのちょっとした困りごと支援)など、取り組むべき支援を見える化し、人と人とのつながりを絶やさない地域づくりに向けて「支え合いマップ」を今後も大いに役立てていきたいと思っています。



「赤い羽根号が役立っています」

奄美市社会福祉協議会



本市では過去の豪雨災害時に多くのボランティアの方にご協力いただきましたが、輸送車両の不足により支援物資等の搬送に影響が出ることもありましたが、今回購入した車両は念願の4輪駆動で小回りの利く軽自動車のため、道幅の狭い場所への物資の輸送や送迎などたいへん役立っています。

また各地域での募金活動啓発のためにも活用させていただき「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けて職員一同一層努力を重ねてまいります。いつも共同募金へ温かいご協力をいただき心より感謝申し上げます。

「支部設立40周年記念講演会と記念誌発行」 日本リウマチ友の会鹿児島支部(鹿児島市)

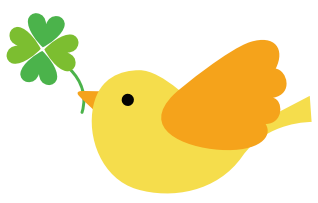
日本リウマチ友の会鹿児島支部は設立40周年を迎え、記念の講演会を2020年9月に鹿児島市で、2021年1月に薩摩川内市で当初の予定より大幅に規模を縮小して開催しました。患者さんの感染症対策や関節リウマチの正しい治療について専門医の講演をいただき、患者自身がどのように対処していくべきかをしっかり学び、より理解を深めることができました。

また、40周年の節目にあたり友の会の成り立ちやこれまでの活動についてまとめた記念誌も発行することができました。コロナ禍で活動にも制限がありましたが、いただいた助成金を有効に活用させていただくことができ大変感謝しています。



インフォメーション

information



ご厚意に感謝いたします

車いすのご寄贈 ありがとうございます
（令和3年3月）

○ あいおいニッセイ同和損害保険
株式会社 鹿児島支店 様



本県の実社会福祉事業の健全な発達及び
社会福祉に関する活動の活性化のため、
車いすを寄贈されました。

支店長 磯村 宏之 様(右)

がんばります！

令和3年度新規採用職員の紹介

私は、福祉サービス利用支援事業に関する業務を行っています。周りの先輩方にご指導を受けながら、業務内容や社会福祉協議会職員としての役割について学んでいます。

これから利用者の方々関わっていく中で、様々な課題と直面していくと思いますが、自分自身の成長につながると信じ、解決に向けてコツコツと頑張っていきます。

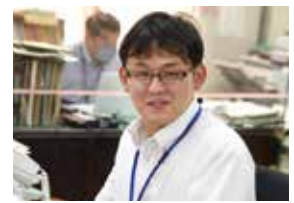
毎日の業務をひとつひとつ丁寧にこなし、地域の方々が安心して快適な生活ができるように、福祉サービスの提供に努めていきますので、皆様、どうぞよろしくお願い致します。



生活支援部福祉サービス利用支援室
主事 柏木 洋人

私は現在、福祉人材・研修センターで鹿児島県民間社会福祉施設職員退職共済事業の業務に携わっています。周りの先輩方からの温かいご指導をいただきながら退職共済のことや社会福祉協議会の業務、心構えを学んでいるところで

情熱を燃やしながら日々、業務に取り組む先輩方に一日でも早く追いつけるよう精進してまいります。皆様、どうぞよろしくお願い致します。



福祉人材・研修センター
主事 中間 祥平

※ 掲載している写真については撮影のときだけマスクを外してもらっています。

令和3年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の 事故・紛争円満解決のために！

プラン1 施設業務の補償（賠償責任保険、動産総合保険等）

① 基本補償（賠償・見舞）

▶ 保険金額		保険期間 1 年	
賠償事故	身体賠償（1名・1事故）	基本補償（A型） 2億円・10億円	見舞費用付補償（B型） 2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
お見舞い等	被害者対応費用（1名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5～7万円 通院時1～3.5万円

▶ 年額保険料（掛金）	
定員	基本補償（A型）
補償基本（A型） 1～50名	35,000～61,460円
51～100名	68,270～97,000円
100名以降1名～10名増ごと	1,500円
付見舞費用（B型）	
基本補償（A型） 保険料	+
	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。



充実した補償と
割安な保険料
です。

スケールメリットを活かした

- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 施設職員の補償
- プラン4 社会福祉法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL：03(3349)5137
 受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
 受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

〈SJ20-12299 2020.12.28 作成〉

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部に受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
 E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
 ★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。